

特別講義

責任者・コーディネーター	教養教育センター教務専門委員長		
担当講座・学科(分野)	教養教育センター、医学部、歯学部、薬学部		
担当教員	教養教育センター教員、医学部・歯学部・薬学部教員、非常勤講師、外部講師 他		
対象学年	1	区分・時間数	講義 3時間
期間	通期		

・学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学を志す学生に共通して求められる人間性を養うために、医歯薬3学部の学生がともに学び、多方面の分野について学修する。誠の医療人を目指す初年次学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、自分の専門領域をより広い視野で理解するための柔軟な思考力、深い洞察力をはぐくむ。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。

また、「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学（岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、一関工業高等専門学校、放送大学）に講義動画を配信し、県内で学ぶ学生諸氏に対する教養教育・社会教育の一助とする。

・教育成果（アウトカム）

人文科学・社会科学・自然科学に関連する最先端の知見、医療に関する講義を傾聴し、医療人を志すための自己の立脚点を謙虚に再確認する。誠の医療人として求められる人間性とは何か、そのために自分がどうあるべきか、何をなすべきかということ具体的を考え、それをわかりやすく表現することによって、自分のなかに医療人としてのビジョンを落とし込む。

医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性、他者の話を傾聴しそれを深く理解することのむずかしさ、自分の考えを整理し論理的に表現することの意義に気づく。

・到達目標（SBO）

- 1.積極的に参加し、講義を傾聴することができる。
- 2.講義の内容を整理し、それに対する自分の意見を論理的に述べることができる。
- 3.誠の医療人に求められる人間性とはどのようなものか、自分の考えを具体的に述べるができる。
- 4.自分がどのような医療人でありたいかを具体的にイメージし、わかりやすく説明することができる。

・講義日程

（矢）大堀記念講堂

月日	曜日	時限	担当教員	講義内容
9/25	金	4	田端 八重子 （もりおか女性センター センター長）	DVを考える ～男女共同参画社会の視点から～

月日	曜日	時限	担当教員	講義内容
11/6	金	4	川田 龍平 (教養教育センター非常勤講師)	薬害を考える ～いのちが守られる社会の実現のために～

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医療格差	川田龍平	角川書店	2011
参	DV・ストーカー対策の法と実務	小島妙子	民事法研究会	2013
参	依存症臨床論	信田さよ子	青土社	2014
推	なぜこの国は被害者を守らないのか	川田龍平	PHP	2013
推	デートDVってなに？Q&A	日本DV防止・情報センター	解放出版社	2007

・成績評価方法

- 1.医学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「医療入門」の成績に加味する。
- 2.歯学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「歯科医学概論」の成績に加味する。
- 3.薬学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「薬学入門」の成績に加味する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、図書館を利用して事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・予習復習のポイント

- 1.新たな講義が追加開催される場合には、掲示板等で連絡する。
- 2.附属図書館では特別講義開催時期に企画展を行い、展示コーナーを設置している。展示を閲覧したり関連書籍を借り出したりして、テーマごとの論点を確認する予習、問題点を掘り下げる受講後の学修やレポート作成に活用しよう。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVDプレーヤーセット（エルモ、東芝、他）	1	講義資料の提示
講義	遠隔講義システム（polycom・7000）	1	講義映像の送受信
講義	遠隔講義システム（polycom・6000）	3	講義映像の送受信
講義	遠隔講義システム（polycom・6000）※いわて高等教育コンソーシアム	1	講義映像の送受信